

2019年11月18日

中国における大学入学試験の現状について

国際文化学部国際文化学科3年

1. はじめに

先日授業で使用している教科書¹に「黒色的六月」という言葉が出てきた。この「黒色的六月」とはどのような意味かという、中国では通称「高考」と呼ばれる大学入学試験が毎年六月に行われているが、競争率がとても激しく、受験生に大きなストレスを与えるため、この大学入学試験が行われる六月のことをこう呼ぶそうだ。

中国において大学入学試験はとても過酷なものだと聞いたことがあるが、「黒色的六月」という言葉を生んでしまう中国の大学入学試験は一体どのように過酷であるのか、どのような原因が大学入学試験の過酷化を引き起こしているのか、現状はどうなっているのか関心を持った。そこで今回のレポートでは、中国における大学入学試験について調査し述べていく。

2. 中国の大学入学試験「高考」について

中国の大学入学試験「高考」は毎年6月、2日間に分けて各省ごとに実施されている。しかし近年行われた入試改革により選択科目である歴史、地理、物理、化学などの試験は早めに行われ、6月は共通科目の国語、英語、数学の三科目だけを受験する²。

前回のレポートでも少し述べたが、中国では1999年から高等教育システムの改革を行い、より多くの学生に高等教育を受けさせるために入学定員を年々増員させたため³、年々高考を受験する高校生は増加しており、今年の6月8日に実施された高考では1031万人もの高校生が受験している⁴。

¹ 発展漢語（第二版）中級総合（I）

徐桂梅・崔娜牟・雲峰編著 2011年8月第二版 北京語言大学出版社

² 一発勝負で「人生決まる」中国の大学入試 高校はメンタルケアに注力

<https://withnews.jp/article/f0190625000qq0000000000000000W02310101qq000019385A>
(2019/11/02)

³ 中国における大学生の就職現状

<https://www.fujitsu.com/jp/group/fri/report/china-research/topics/2012/no-162.html>
(2019/10/27)

⁴ 反日的な出題傾向も 1000万人受験の中国大学統一試験

3. 過酷な大学入学試験の現状

ではなぜ中国では大学入学試験は過酷だと言われるのだろうか。原因は様々であるが今回は四つの原因について述べる。

一つ目は、中国の大学入学試験はこのたった一回の試験の結果で入学できる大学が決まってしまうため過酷な大学入学試験を引き起こしていると考えられる。中国の大学はほとんどが国立大学であり、日本の私立大学のように大学ごとの入試はなく、この高考が一発勝負となる⁵。中国では、日本と同じように小学校（6年制）、中学校（3年制）、合計9年間の義務教育に加え、高校（3年制）、大学（4年制）の教育制度を実施しているが⁶、この2日間の試験が、それまでの12年間の在学の成果を測るため過酷だと言われるのではないだろうか。

二つ目は、中国は学歴を重視している国ということが挙げられる。中国では清朝まで行われていた科挙試験から分かるように、日本以上に学歴が重視されている国だ。進学先の良し悪しで人生が決まると言われるため、より良い大学に入る事が強いられるため大学入学試験は過酷だと言われるのではないだろうか。

三つ目の原因として、人口の多さと比較して優秀な大学が少ないことが挙げられる。例えば、日本の東京大学の学生数は約2万8000人だが、中国の北京大学の学生は約5万人で中国の人口は日本の10倍以上もいるので⁷、この点だけを見ても、中国人が中国で一流大学に入学するのは非常に困難であるということがわかる。

四つ目は都市部の受験生を優先させる政策があるため、各省によって大学の合格者数や合格ラインが異なることが原因にあると考える。例えば、北京の大学に進学するには、地方よりも北京出身の受験生のほうが合格しやすいことから、地方から都市部の優秀な大学への受験はより過熱しやすくなっている⁸。

<https://www.msn.com/jajp/news/world/%e5%8f%8d%e6%97%a5%e7%9a%84%e3%81%aa%e5%87%ba%e9%a1%8c%e5%82%be%e5%90%91%e3%82%82-1000%e4%b8%87%e4%ba%ba%e5%8f%97%e9%a8%93%e3%81%ae%e4%b8%ad%e5%9b%bd%e5%a4%a7%e5%ad%a6%e7%b5%b1%e4%b8%80%e8%a9%a6%e9%a8%93/ar-AAD4IMx#page=2> (2019/10/27)

⁵ 中国の過酷すぎる大学受験はなぜ起こるのか？

<https://news.yahoo.co.jp/byline/nakajimakei/20170606-00071789/> (2019/11/02)

⁶ 中国の「高考」(大学入学試験)事情

www.pref.okayama.jp/uploaded/life/330057_1523368_misc.pdf (2019/11/02)

⁷ 中国の過酷すぎる大学受験はなぜ起こるのか？

<https://news.yahoo.co.jp/byline/nakajimakei/20170606-00071789/> (2019/11/02)

⁸ 中国の過酷すぎる大学受験はなぜ起こるのか？

<https://news.yahoo.co.jp/byline/nakajimakei/20170606-00071789/> (2019/11/02)

以上の四つの原因から中国の大学入学試験は過酷であると言えるのではないだろうか。

4. 過酷な大学入学試験が引き起こすストレス

このような過酷な大学入学試験は高校生に莫大なストレスを与えると考える。2009年と2016年に中国少年研究センターが行った「中米日韓四か国高校生の学習意識と状況の比較研究報告」によると、81.3%の中国の高校生が勉強に対して「とてもストレスである」、「ややストレスである」と回答しており、アメリカ75.9%、日本68.6%、韓国65.2%と比較して中国はストレスを感じている高校生が多いことが分かる⁹。実際に今年行われた大学入学試験では、大学入学試験によるストレスによって男子学生が女子学生を果物ナイフで刺し殺すという悲劇が起こっている¹⁰。このような事件以外にも、試験前はストレスによって高校生の自殺者が相次ぐという話を中国人の友人から聞いたことがある。

ではこのストレスを緩和するために何か対策は行われているのだろうか。調べてみると、中国嘉善県では未成年者のメンタルケアにかなり力を入れており、高校レベルでは専門職の心理カウンセラーを配備し、中学校レベルでも兼任のカウンセラーを配備しているようだ。また浙江省も「心理健康教育示範点学校」を定め、高校生だけでなく、小中学校の学生の心理問題を重要視しているようだ¹¹。また中国人の先生から聞いた話によると、子供が勉強に集中できるように学校の近くに自宅とは別に家を借り、できるサポートは全て行う受験生の親も少なくはないようだ。さらに近年富裕層の間では、過酷すぎる大学入学試験を最初から放棄して、小・中学生のうちから海外留学の道を目指す「小留学生」も増加しているようだ。

高校生に莫大なストレスを与える大学入学試験は中国において社会的問題と言えるだろう。中国は大学入学試験やそれを重視する考え方を変えていく必要があるのではないだろうか。

5. おわりに

今回のレポートでは中国における過酷な大学入学試験の現状について調査した。その結

⁹ 中米日韓の高校生比較調査：最もストレスを抱える中国の高校生

http://japanese.china.org.cn/jp/txt/2017-07/02/content_41136465.htm

(2019/11/03)

¹⁰ 2019年高考現場殺人事件

<https://chuansongme.com/n/2994089445813> (2019/11/02)

¹¹ 一発勝負で「人生決まる」中国の大学入試 高校はメンタルケアに注力

<https://withnews.jp/article/f0190625000qq0000000000000000W02310101qq000019385A>

(2019/11/03)

果、大学入学試験を過酷化させる原因として、中国ではたった一回の試験の結果で入学できる大学が決まってしまうことや学歴重視の国であること、人口の多さと比較して優秀な大学が少ないことなどが挙げられると考えられる。自分自身大学入学試験の前はすごくストレスを感じていたが、中国は日本以上に大学入学試験が過酷なものであると改めて感じた。この過酷すぎる大学入学試験は今後変わっていくのか中国の動きやニュースなどにも注目していきたい。